

Asianux Server 自動アップデートツール 利用ガイド



4	目次	~
1.		3
2.	ご利用の流れ	3
3.	TSN への登録方法	4
	3.1 GUI による登録方法	4
	3.2 インストール直後の設定方法	8
	3.2.1 登録手順	8
	3.2.2 プロキシサーバー利用時の設定手順	.11
	3.3 TUI での使用方法	.12
	3.3.1 登録手順	.12
	3.3.2 プロキシサーバー利用時の設定手順	.14
4.	自動アップデートツールのご利用	.15
	4.1 vum コマンドによるアップデート方法	.15
	4.1.1 vum コマンドの基本	.15
	4.1.2 yum コマンドの使用例	15
	4.1.3 vum コマンドの応用	16
	4.1.3.1 インストール DVD を vum リポジトリにする	16
	4132グループ単位でインストールをする	17
	4133キャッシュを作成する	18
	42 GUL ツールによるアップデート方法	19
		19
	4.2.2 「ソフトウェアの追加 / 削除」の使用方法	20
	4.2.3 子の他の機能	22
	4.2.31 [ソフトウェア再新」の設定について	22
		23
5	トラブルシューティング	25
5.	- ノノル・ニーー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	25
	5.7 / ロノノイ にほう 8-4 / 15.5 / 5.7 / 1.5 /	26
		26
	5.5 2 品が加えた。 5.4 右が期間が切れた場合	27
	5.5 ネットワークに接続できかい堤合 またけ認証サーバーに接続できかい堤合	20
	5.5 キシーン シにほん CC ない 物口、 5.2 6 mm ノ ハ に 反肌 CC ない 物日	20
	- いし ノ ノ ノ ノ 「 ノ - イ 、 「 に 」 矢 小心 く C ' み V ' 勿 凵	. <i>L</i> J

1. はじめに

このドキュメントは、Asianux Server 4 == MIRACLE LINUX V6(以下Asianux Server 4)、Asianux Server 7 == MIRACLE LINUX V7(以下Asianux Server 7)におけるパッケージアッ プデートツールについて記述します。 Asianux Server 4 および Asianux Server 7 では、自動アップデートツールとして「yum」と GUI ツー ルをご利用いただけます。 自動アップデートツールのご利用にあたって必要となる登録のうち、Asianux Technical Support Network (以下、TSN)への登録方法、そして、それぞれのツールのご利用方法について解説いたします。 TSN への登録、ご利用にはユーザー登録と製品登録が必要です。 以下の手順に沿って、事前のご登録をよろしくお願いいたします。

2. ご利用の流れ

- (1) ユーザー登録 / 製品登録
- (2) TSN への登録
- (3) 自動アップデートツールのご利用
- のユーザー登録 / 製品登録は以下の URL よりお願いいたします。
 https://www.miraclelinux.com/user/user.html
- (2)のTSNへの登録は「3 TSNへの登録方法」を参照してください。
- (3)の自動アップデートツールのご利用は「4 自動アップデートツールのご利用」をご覧ください。

3. TSN への登録方法

3.1 GUI による登録方法

最初に登録画面を開きます。

Asianux Server 4

<GNOMEの場合> 「システム」→「管理」→「TSN への登録」の順に選択してください。



<KDE の場合>

デスクトップ画面左下の「Asianux」のボタンをクリックしてください。

デスクトップフォルダ	
axs4_base axs4_update	
Kickoff アプリケーションランチャー お気に入り、アプリケーション、コン ビュータ上の場所、最近使ったもの、 デスクトップセッション	Asianux Server 4
	[] ∰ 🧊 🚺 08:16

「アプリケーション」タブから「管理」を選択してください。

デスクトップフォルダ	
axs4_base axs4_update	
root (root) [localhost.localdomain]	
ジステム全体の設定を変更(全てのユーザーに影響)	
≫ 設定 ト	
ファイル/フォルダを検索	
▲ 個人のファイル	
Организация Организация <thорганизация< th=""> <thорганизация< th=""></thорганизация<></thорганизация<>	Asianux Server 4
	🔁 🚅 🔂 08:17 🤇

「Register for software updates from Asianux TSN」を選択してください。



Asianux Server 7



<KDE の場合>

デスクトップ画面左下の「Asianux」のボタンをクリックするとメニューが表示されるので、その中の「アプリ ケーション」タブから「管理」を選択してください。



「Register for software updates from Asianux TSN」を選択してください。



<コマンドの場合>

コマンドラインより、以下のコマンドを入力することによっても登録画面を開けます。

/usr/bin/axtsn_register

* root ユーザー以外で起動した場合には、root ユーザーの認証が必要となります。

6	質問 ×	¢
	スーパーユーザー権限を必要とする"axtsn_register"を実行 しようとしていますが、実行するには追加情報が必要です。	
-	k	
"root" (こして認証しています	
	パスワード:	
	(≠ャンセル(<u>C</u>) OK(<u>O</u>)	

(1) ユーザー情報の登録をします。「進む (F)」をクリックします。



(2) 事前に製品登録したプロダクトキーを入力後、「進む (F)」をクリックします。

	リェア更新を登録中	_ ×
プロダクトキーを入力	してください。	Asia
プロダクトキーを入力してください。 		
高度な Network 設定 (<u>N</u>)		
	キャンセル(<u>C</u>) 戻	る(<u>B</u>) 進む(<u>F</u>)

※ 補足事項

HTTP プロキシを使用している場合には、「3.2.2 プロキシサーバー利用時の設定手順」を ご確認ください。 (3) アカウント情報を入力します。

■ ソフトウェア更新を登録中	_ × _
アカウント情報の入力	Asia nux
Asianux TSN のアカウント情報を入力してください。 ログインアカウントとパスワードをお持ちでない場合には、次のウェブ サイトから入手してください。 http://www.miraclelinux.com/user	
ログイン名(止):	
パスワード (2):	
システム名 (N): AXS4.miraclelinux.com	
キャンセル(<u>C</u>) 戻る(<u>B</u>)	進む(<u>F</u>)

各項目を入力後、「進む (F)」をクリックすると、TSN への登録は完了です。

・ログイン名(L):ユーザー登録した ID を入力してください。
 ・パスワード(P):ユーザー登録したパスワードを入力してください。
 ・システム名(N):デフォルトではサーバーのホスト名が表示されています。
 任意の名前を設定することも可能です。

3.2 インストール直後の設定方法(Asianux Server 4のみ)

3.2.1 登録手順

インストール DVD を使用して Asianux Server 4 をインストールした場合は、初回起動時の設定 (firstboot) も可能です。以下の「ソフトウェアの更新の設定」画面で「いますぐ登録します (Y)」を選択し、 「進む (<u>F</u>)」ボタンをクリックして設定を進めてください。

後から登録を行うこともできます。その場合は「後から登録します (<u>N</u>)」 にチェックを入れ、「進む (<u>F</u>)」をクリックしてください。



「いますぐ登録します (Y)」を選択し、「進む (E)」ボタンをクリックした後、プロダクトキーを入力します。

ようこぞ ライセンス情報 ・ ソフトウェア更新の設 定 ユーザーの作成 日付と時刻 Kdump	プロダクトキーを入力してください。 フロタクトキー&λカレ෭<ださい。
Asianux	高度な Network 設定 (<u>N</u>) 戻る(<u>B</u>) 進む(<u>F</u>)

プロダクトキーを入力した後、次にログイン名とパスワードを入力します。

※ 補足事項

HTTP プロキシを使用している場合には、「3.2.2 プロキシサーバー利用時の設定手順」を ご確認ください。

ようこそ ライセンス情報 > ソフトウェア更新の設 定 ユーザーの作成 日付と時刻 Kdump	Asianux TSN ログイン Asianux TSN のアカウント情報を入力してください。 ログインアカウントとパスワードをお持ちでない場合には、次のウェブ サイトから入手してください。 http://www.miraclelinux.com/user	
	ログイン名(L):	
	バスワード (<u>P</u>):	
	システム名 (M): AXS4.miraclelinux.com	
Asiamute	戻る(<u>B</u>) 進む(E)	

・ログイン名(L):ユーザー登録した ID を入力してください。
 ・パスワード(P):ユーザー登録したパスワードを入力してください。
 ・システム名(N):デフォルトではサーバーのホスト名が表示されています。
 任意の名前を設定することも可能です。

登録に成功すると、次の画面が表示され、TSN への登録は完了です。



3.2.2 プロキシサーバー利用時の設定手順

(1) 登録手順のプロダクトキー入力画面を表示します。
 ※ 手順は、3.1 (1), (2) をご確認ください。
 「高度な Network 設定(<u>N</u>)」をクリックします。

עד איז	ウェア更新を登録中		_ ×
プロダクトキーを入力	してください	1.	Asia nux
プロダクトキーを入力してください	0		
高度な Network 設定 (<u>N</u>)			
	キャンセル(<u>C</u>)	戻る(<u>B</u>) 進す	G(<u>F</u>)

(2) プロキシ設定(高度なネットワーク設定)画面にて、以下の設定を実施してください。

「HTTP プロキシ経由で Asianux TSN に接続します(<u>H</u>)。」にチェックを入れ、プロキシサーバーのアドレスとポート番号を設定してください。

また、必要に応じて、「HTTP プロキシによる認証を使用する(T):」にチェックを入れ、ユーザー名とパス ワードを設定してください。

	高度なネットワーク設定 ×
н	TTP プロキシ
	✓ HTTP プロキシ経由で Asianux TSN に接続します (<u>H</u>)。
	Proxyの場所 (<u>P</u>): xxx.miraclelinux.com:8080
	🕕 例: squid.example.com:3128
	✓ HTTP プロキシによる認証を使用する (<u>T</u>):
	プロキシのユーザー名 (<u>U</u>):
	プロキシのパスワード (<u>A</u>):
	閉じる (<u>C</u>)

「閉じる」をクリックすれば設定完了です。

3.3 TUI での使用方法

3.3.1 登録手順

(1) 登録画面を開きます。コマンドラインより root ユーザーにて以下のコマンドを入力します。 * 補足事項

HTTP プロキシを使用している場合には、「3.3.2 プロキシサーバー利用時の設定手順」を ご確認ください。

/usr/sbin/axtsn_register --nox

図 root@localhost:/home _	×
ファイル(<u>F</u>) 編集(<u>E</u>) 表示(<u>V</u>) 検索 (<u>S</u>) 端末(<u>T</u>) ヘルプ(<u>H</u>)	
Copyright ©20052010 Asianux, Inc. All rights reserved.	_
ソフトウェア更新を設定 アシスタントによって、セキュリティ更新などのソフトウェア更新を取得して ご使用のシステムが常にサポートされるようシステムを Asianux TSN にご登録する方法をご案内します。 ここでは、次の項目が必要になります。 * ネットワーク接続 * プロダクトキー * Asianux TSN のログイン名とアカウント	
Asianux TSN へのご登録について 次へ 取り消し	=
<tab>/<alt-tab> 項目間を移動 <space> 選択 <f12> 次の画面</f12></space></alt-tab></tab>	

(2) 事前に製品登録したプロダクトキーを入力後、「次へ」を選択します。



(3) アカウント情報を入力します。 各項目を入力後、「次へ」を選択すると、TSN への登録は完了です。



・Asianux Login ・パスワード ・システム ID

: ユーザー登録した ID を入力してください。 : ユーザー登録したパスワードを入力してください。 : デフォルトではサーバーのホスト名が表示されています。

任意の名前を設定することも可能です。

	roo	t@localhos	t:/home			_ 0	×
ファイル(<u>F</u>) 編集	E) 表示(V) 検索()	<u>5</u>) 端末(<u>T</u>)	ヘルプ(<u>H</u>)				
Copyright © 200	52010 Asianux,	Inc. All	rights reser	rved.			~
	ソフト	ウェア更新	の設定を終了				
Congratulation	s! You have succ	essfully r	egister your	r system with	Asianux	TSN!	
		終了	1				
							-
<tab>/<alt-ta< td=""><td>b>項目間を移動</td><td> <s< td=""><td>pace> 選択</td><td> <f12></f12></td><td>次の画面</td><td></td><td>$\overline{}$</td></s<></td></alt-ta<></tab>	b>項目間を移動	<s< td=""><td>pace> 選択</td><td> <f12></f12></td><td>次の画面</td><td></td><td>$\overline{}$</td></s<>	pace> 選択	<f12></f12>	次の画面		$\overline{}$

3.3.2 プロキシサーバー利用時の設定手順

プロキシサーバを利用するには次の手順を行ってください。

(1) 以下のファイルを開きます。

/var/lib/axtu/axtu.conf

(2) ファイル内の以下の項目を編集します。

プロキシ使用可否
 デフォルトは 0 (OFF) となっていますので、1 (ON) に書き換えます。

enableProxy=0 ↓ enableProxy=1

プロキシサーバー設定
 プロキシサーバーのアドレスとポート番号を記述します。

httpProxy=
↓
httpProxy=xxx.miraclelinux.com:8080

プロキシ認証
 デフォルトは0(無効)となっていますので、必要に応じて1(有効)に書き換えます。

enableProxyAuth=0 ↓ enableProxyAuth=1

ユーザー名、パスワード設定
 ユーザー名、パスワードを必要に応じて設定してください。

proxyUser= proxyPassword=

(3) ファイルを保存して設定完了です。

4. 自動アップデートツールのご利用

4.1 yum コマンドによるアップデート方法

4.1.1 yum コマンドの基本

yum を使用するには、yum コマンドを使用します。基本的な書式は以下です。

yum [オプション] [コマンド] [パッケージ名]

・インストールもしくはアップデート可能なパッケージの一覧を表示する。

yum list

・アップデート可能なパッケージを確認する。

yum check-update

・個別にパッケージのインストールを行う。(例: tftp パッケージ)

yum install tftp

・システムにインストールされているすべてのパッケージのアップデートを行う。

yum update

・個別にパッケージのアップデートを行う。(例: firefox パッケージ)

yum update firefox

・個別にパッケージの削除(アンインストール)を行う。(例: tftp パッケージ)

yum remove tftp

4.1.2 yum コマンドの使用例

tftp パッケージのアップデートを例に yum コマンドの実行の流れについて説明します。 (1) tftp パッケージのアップデートを行うには、以下のようにコマンドを実行します。

```
# yum update tftp
Loaded plugins: aliases, axtu-plugin, changelog, downloadonly, kabi, presto,
                                : refresh-packagekit, security, tmprepo, verify, versionlock
Loading support for kernel ABI
Setting up Install Process
Resolving Dependencies
- - > Running transaction check
- - - > Package tftp.i686 0:0.49-5.1.AXS4 will be updated
- - - > Package tftp.i686 0:0.49-7.AXS4 will be an update
- - > Finished Dependency Resolution
```

(2) パッケージの検索や依存関係の解決などが行われた後、これから行う処理の内容が表示されます。 処理内容に問題がない場合は [y] を入力し、[Enter] キーを押下します。

Dependencie	s Resolved			
Package	Arch	Version	Repository	Size
Updating: tftp	i 686	0.49-7.AXS4	axs4_base	30 k
Transaction	Summary			
Upgrade	1 Package(s)			
Total downl Is this ok	oad size: 30 k [y/N]: y			

(3) tftp パッケージのダウンロードとアップデートが行われます。

Downloading Packages: Setting up and reading Presto delta metadata Processing dalta metadata Package(s) data still to download: 30 k tftp-0.49-7.AXS4.i686.rpm

30 kB 00:00

※注意事項 初回使用時は GPG キーを取り込む確認が行われます。 [y] を入力し、[Enter] キーを押下してください。

警告: rpmts_HdrFromFdno: ヘッダ V4 RSA/SHA1 Signature, key ID 4d10bf19: NOKEY Retrieving key from file:///usr/share/doc/asianux-release/RPM-GPG-KEY Importing GPG key 0x4D10BF19: Userid : Asianux (Asianux) <packager@asianux.com> Package : asianux-release-4.0-6.AXS4.i686 (@anaconda-AsianuxServer-201210251021.i386/4SP2) From : /usr/share/doc/asianux-release/RPM-GPG-KEY Is this ok [y/N]: y

tftp パッケージのアップデートが完了しました。

Running rpm_check_debug Running Transaction Test Transaction Test Succeeded Running Transaction Warning: RPMDB altered outside of yum. Updating : tftp-0.49-7.AXS4.i686 1 / 2 Cleanup : tftp-0.49-5.1.AXS4.i686 2 / 2 Verifing : tftp-0.49-7.AXS4.i686 1 / 2 Verifing : tftp-0.49-5.1.AXS4.i686 2 / 2 Updated: tftp.i686 0:0.49-7.AXS4 Complete!

4.1.3 yum コマンドの応用

4.1.3.1 インストール DVD を yum リポジトリにする

インストール DVD を yum リポジトリに設定することで、インストール DVD に収録されているパッケージ のインストールやアップデートを、「yum コマンド」や GUI の「ソフトウェアの追加/削除」(gpkapplication)を使用して行うことが可能です。以下に手順を示します。

1. インストール DVD をマウントします。

2. リポジトリファイルを作成します。

以下にリポジトリファイルの例を示します。yumリポジトリの設定ファイル(/etc/yum.repos.d/ファイル 名.repo)を作成します。インストール DVD は/media/Asianux にマウントされているとします。

設定ファイル: /etc/yum.repos.d/dvd.repo

vi /etc/yum.repos.d/dvd.repo
[dvd-axs4]
name=Asianux Server 4 (SP2) DVD
mediaid=1323419991.707402
baseurl=file:///media/Asianux/Server
metadata_expire=-1
gpgcheck=0
enabled=1

「mediaid」にはインストール DVD に収録されている.discinfo ファイルに記載されている数字の部分を 記載します。mediaid の確認方法は下記のとおりです。

```
# cat /media/Asianux/.discinfo
1351131767.466545 // これが mediaid になります。
Asianux Server
i386
ALL
```

「baseurl」にはインストール DVD のマウントポイントに合わせて"file:///マウントポイント/Server"を指定します。「enabled」には 1(=有効)もしくは 0(=無効)を指定します。

 リポジトリファイルを作成後、「yum コマンド」もしくは GUI の「ソフトウェアの追加/削除」(gkpapplication)を使用してパッケージの追加やアップデート等が行えます。

4.1.3.2 グループ単位でインストールをする

各パッケージはグループに分けられています。grouplistオプションでそのグループの一覧が確認できま す。

各グループに含まれているパッケージを確認するには、groupinfo オプションで確認ができます。 以下は network-tools グループの例です。

Optional Packages: NetworkManager-openswan

グループ単位でインストールするには groupinstall オプションを使用します。

yum groupinstall network-tools

グループ単位でアップデートするには groupupdate オプションを使用します。

yum groupupdate network-tools

グループ単位でインストールするには groupinstall オプションを使用します。

yum groupinstall net-snmp-devel

4.1.3.3 キャッシュを作成する

以下に示すように makecache オプションを実行すると、現在有効な yum リポジトリのメタデータを事前にキャッシュとして保持することができます。

# yum makecache	
Loaded plugins: aliases, axtu-plugin, changelog, dow	nloadonly, kabi, presto,
: refresh-packagekit, security, tmprep	oo, verify, versionlock
Loading support for kernel ABI	
axs4 base	951 B 00:00
axs4 update	1.2 kB 00:00
Metadata Cache Created	

4.2 GUI ツールによるアップデート方法

自動パッケージアップデートツールの GUI として「gnome-packagekit」を使用することができます。 「gnome-packagekit」には、「ソフトウェア更新(ソフトウェアの更新)」と「ソフトウェアの追加 / 削除 (ソフトウェア)」の2つのウィンドウがあり、各々の主な機能は以下になります。

1. 「ソフトウェア更新(ソフトウェアの更新)」:システムにインストールされているすべてのパッケージ、もしくは選択したパッケージのアップデートが行えます。

2.「ソフトウェアの追加 / 削除(ソフトウェア)」:パッケージの追加や削除などの管理が行えます。

※()内はAsianux7での表記になります。

4.2.1 「ソフトウェア更新(ソフトウェアの更新)」の使用方法

Asianux Server 4

(1) Asianux Server 4 の場合、システムのパッケージにアップデートがあると、通知エリア(デスクトップ 右上)にアップデートアイコンが表示されます。

ᢙ アプリケーション 場所	システム 👹 😤 🗾	🚔 🧀 🥠 🚅
		4 つ更新があります
コンピュータ		

(2) アップデートアイコンをクリックすると「ソフトウェア更新」のウィンドウが開きます。

5		ソフトウェア更新	_ 0	×
	4 つの	更新があります		
Ē	ソフトウコ 性を排除し	ェアの更新はエラーを修正し、セキュリティの脆弱 _ン て新しい機能を提供します。		
インスト	トール	ソフトウェア	状態 サイズ	
-	✓	Development package for building kernel modules t… kernel-devel-2.6.32-279.5.1.el6 (i686)	7.6 MB	
-	\checkmark	Various documentation bits found in the kernel sou kernel-doc-2.6.32-279.5.1.el6 (noarch)	9.5 MB	;
-		Header files for the Linux kernel for use by glibc kernel-headers-2.6.32-279.5.1.el6 (i686)	1.9 MB	;
-	\checkmark	Performance monitoring for the Linux kernel perf-2.6.32-279.5.1.el6 (i686)	1.6 MB	ł
この通知	12 2012-1	1-06 に発行されました。		
The kerr The kerr allocatio	nel packag nel handle on, device	ge contains the Linux kernel (vmlinuz), the core of any Linux opera is the basic functions of the operating system: memory allocation, input and output, etc.	ting system. process	Ξ
Security	issues fix	red with this release:		
CVE-20 kernel b potentia	011-1078 efore 2.6. Ily sensiti	The sco_sock_getsockopt_old function in net/bluetooth/sco.c in 39 does not initialize a certain structure, which allows local users to ve information from kernel stack memory via the SCO_CONNINFC	the Linux to obtain O option.	
• CVE-20 i915/i9 kernel b	012-2383 015_gem_e efore 3.3.	Integer overflow in the i915_gem_execbuffer2 function in drive execbuffer.c in the Direct Rendering Manager (DRM) subsystem 5.on 32-bit platforms allows local users to cause a denial of servic	rs/gpu/drm/ in the Linux e (out-of-	~
		4 つの更新が選択さ	れました (20.5 M	1B)
	ルプ(<u>H</u>)	終了(<u>Q</u>) 更新	所をインストール(D

(3)「更新をインストール (1)」ボタンをクリックすると、選択したパッケージのインストールが行われます。

7	×
パッケージのソ-	- スを信頼しますか。
レポジトリ名:	axs4_base
署名 URL:	/usr/share/doc/asianux-release/RPM-GPG-KEY
署名ユーザー識別子:	Asianux (Asianux) <packager@asianux.com></packager@asianux.com>
署名識別子:	4D10BF19
パッケージ:	tftp-0.49-7.AXS4
ユーザー	-を認識し、このキーを信頼しますか。
ヘルプ(<u>H</u>)	(はい(Y) キャンセル(<u>C</u>)

※注意事項

パッケージのインストールやアップデートを初めて行う場合、上のメッセージが表示され GPG キーを取り込むことの確認が行われます。表示された場合は「はい (Y)」を選択します。

また、「ソフトウェア更新」は「システム」メニューから起動することも可能です。

急 アプリケーション 場所	७२न४ 👹 😤		6	
_	設定	>		
	管理	>	🅼 HP Device Manager	
コンピュータ	ヘルプ		🔀 SELinux Management	
	このコンピュータは	こついて	🚱 TSN への登録	
	rootのログアウト		🍄 カーネルクラッシュダンプ	
root のホーム	シャットダウン		∅ サービス	
	5,757,555		😽 ソフトウェアの追加/削除 🔉	
	シ ン	ステムにイン	リストールされるソフトウェアを追加す	たは削除する
コニ相			🗱 ファイアーウォール	
			🛐 プロファイル・エディタ	
			🚇 ユーザーとグループ	
			🚔 印刷	
			▶ 監査ログ	
			阿二 言語	
			🕑 日付と時刻	

Asianux Server 7

(1)Asianux Server 7 の場合、システムのパッケージにアップデートがあると、通知エリア(図の赤い囲いの付近)にアップデートアイコンが表示されます。



(2) アップデートアイコンをクリックすると「ソフトウェア更新」のウィンドウが開きます。



(3)また、「アプリケーション」→「システムツール」→「ソフトウェアの更新」の順に選択することで起動する こともできます。



4.2.2 「ソフトウェアの追加 / 削除(ソフトウェア)」の使用方法

Asianux Server 4

(1) Asianux Server 4 の場合、「システム」メニューから「ソフトウェアの追加 / 削除」を選択すると、「ソフトウェアの追加 / 削除」のウィンドウが開きます。



(2) パッケージの選択を行い、「適用 (A)」をクリックすることでパッケージの追加や削除が行えます。



Asianux Server 7

(1)「アプリケーション」→「システムツール」→「ソフトウェア」の順に選択すると、「ソフトウェア」のウィンドウが開きます。



(2)「ソフトウェア」の画面を開いたら、各ツリーからパッケージを選択すると、追加や削除が行えます。



※注意事項

パッケージのインストールやアップデートを初めて行う場合は、以下のメッセージが表示され GPG キーを取り込むことの確認が行われます。表示された場合は、「はい (Y)」を選択します。

<u> </u>	×		
パッケージのソー	ースを信頼しますか。		
レポジトリ名:	axs4_base		
署名 URL:	/usr/share/doc/asianux-release/RPM-GPG-KEY		
署名ユーザー識別子:	Asianux (Asianux) <packager@asianux.com></packager@asianux.com>		
署名識別子:	4D10BF19		
パッケージ:	tftp-0.49-7.AXS4		
ユーザー	-を認識し、このキーを信頼しますか。		
ヘルプ(<u>H</u>)	(はい(<u>Y</u>) = キャンセル(<u>C</u>)		

4.2.3 その他の機能

4.2.3.1 「ソフトウェア更新」の設定について

(1)「システム」→「設定」→「ソフトウェア更新」の順に選択してください。

🧑 アプリケーション 場所	システム 👹 🙈 🗾	^	🚔 🌗 🚅
	設定 >	Bluetooth	
	管理 >	A IcedTea Web Control Panel	
コンピュータ	ヘルプ	Network Authentication	
	このコンピュータについて	☆ お気に入りのアプリ	
	root のログアウト	シュー ヴィンドウ シュー・ボード	
root のホーム	シャットダウン	■ +ホード	
		🔮 サウンド	
ゴミ箱		🔜 スクリーンセーバー	
F		🍄 ソフトウェア更新	
avel bace		ソフトウェア更新の詳細設定を変更する	
akar_base		🍸 デスクトップ効果	
		🚔 デフォルトのプリンター	
axs4_update		📡 ネットワークのプロキシ	
		📄 ネットワーク接続	
		📳 ファイル管理	

(2)「ソフトウェア更新の詳細設定」ウィンドウが開きます。

🔅 ソフトウェア	?更新の詳細設定	×
更新設定		
更新を確認する(<u>C</u>):	毎日	\$
自動的にインストール(<u>A</u>):	なし	\$
🗆 モバイルブロードバン	ド使用時に更新を確認す	する
ヘルプ(<u>H</u>)	閉	บัる(<u>C</u>)

ここで設定できる内容は次のとおりです。

更新を確認する (C): デフォルト「毎日」

サーバーに問い合わせる周期を「毎時間/毎日/毎週/なし」から設定できます。

自動的にインストール (<u>A</u>): デフォルト「なし」

「すべての更新/セキュリティ更新のみ/なし」から設定できます。

モバイルブロードバンド使用時に更新を確認する: デフォルト 無効

設定を変更し、「閉じる (C)」ボタンをクリックすることで適用されます。

Asianux Server 4

(1)「システム」→「管理」→「ソフトウェアの追加 / 削除」の順に選択してください。

🝓 アプリケーション 場所	システム 🕹	🧐 🗾		
	設定	>		
			MP Device Manager	
コンピュータ	ヘルプ		SELinux Management	
-	このコンピュー	-タについて	🛞 TSN への登録	
	root のログマ	4 L	🍚 🎬 カーネルクラッシュダンプ	
root のホーム		J.L	∅ サービス	
	シャットタワン	/	😽 ソフトウェアの追加/削除 📐	
		システムにイン		除する
コミ粕			🚟 ファイアーウォール	
			🛐 プロファイル・エディタ	
			🚇 ユーザーとグループ	
			🔒 எவ	
			▶ 言語	
			🕑 日付と時刻	

- (2) 開いた「ソフトウェアの追加 / 削除」ウィンドウから「システム」→「ソフトウェアログ」の順に選択します。
- (3) 「ソフトウェアログビューア」が開きます。

				フィル
日付	アクション	詳細	ユーザー名	アプリケーション
	🕞 パッケージのインストール完了	更新完了: tftp	root	ソフトウェアの追加/削
	宿 パッケージの削除完了	削除完了: tftp	root	ソフトウェアの追加/削
	🕞 パッケージのインストール完了	更新完了: tftp	root	ソフトウェアの追加/削
	🔁 パッケージの更新完了	更新完了: tftp	root	システムの更新
	宿 パッケージの削除完了	削除完了: tftp	root	ソフトウェアの追加/削
	🕞 パッケージの更新完了	インストール済: kernel-devel 更新完了: perf, kernel-headers, kernel-doc	root	システムの更新

Asianux Server 7

(1)「アプリケーション」→「システムツール」→「ソフトウェア」の順に選択してください。



(2)画面上部にある「ソフトウェア」→「ソフトウェアの更新履歴」の順に選択します。



(3)「ソフトウェア更新履歴ビューアー」が開きます。

アプリケーション	〃 場所 🚔◎フトウェア		ja 🖤 呈 木曜日 15:56 🖾 mirad
		ソフトウェア更新履歴ビューアー	
			フィルタ
口哇	アクション	转题	コーザータ アプリケーション
2015年 10日 20日	第 再新されたパッケージ	PT NUL	
2015年10月20日	(電 更新されたパッケージ)		/usr/bin/gpk-update-view
20134 10/3 2011	ENCAUCING J	k -	/usr/bin/gpk-update-view
ヘルプ(H)			閉じる(の

また、コマンドラインから以下のコマンドを入力することによっても確認できます。

cat /var/log/yum.log

5. トラブルシューティング

5.1 プロダクトキーに関するエラー

(1) プロダクトキーの入力が間違っている場合 以下の画面が表示される場合は、プロダクトキーの入力に誤りがあります。

- GUI の場合



- TUI の場合



対処方法:

(1) プロダクトキーのフォーマットに従っていない場合

プロダクトキーは 5 桁 x 5 の大文字英数字で構成されており、間に - (ハイフン)が含まれる文字列です。 (例) 12345-67890-ABCDE-FGHIJ-KLMNO

ハイフンを入力しているでしょうか、再度ご確認ください。

(2) プロダクトキーが間違っている場合

(1)の項目に加え、小文字が混ざっていないか等、お手元のプロダクトキーとあわせてご確認ください。

5.2 ユーザー ID、パスワードに関するエラー

以下の画面が表示される場合は、ユーザーID、パスワード、もしくはいずれの入力にも誤りがあります。

- GUI の場合



- TUI の場合

E root@localhost:/home _ [×
ファイル(<u>E</u>) 編集(<u>E</u>) 表示(<u>V</u>) 検索 (<u>S</u>) 端末(<u>T</u>) ヘルプ(<u>H</u>)	
Copyright © 20052010 Asianux, Inc. All rights reserved.	
ソフトウェア更新の設定中 Please enter your login information for Asianux TSN. If you don't have a login account and password, please get them from the following website: http://www.mira ユーザ名とパスワードが一致しません 。認証に失敗しました。 DK ブロージン アントウェア更新の設定中 ・ </td <td></td>	

対処方法:

「ユーザー登録」をした際のユーザー ID、パスワードと一致しているか、再度ご確認ください。

5.3 製品が違う場合

以下の画面が表示される場合は、これから登録しようとしているプロダクトキーが製品登録した際のもの と合っていません。

- GUI の場合



- TUI の場合

🗵 root@localhost:/home _ 🗉	×
ファイル(<u>E</u>) 編集(<u>E</u>) 表示(<u>V</u>) 検索 (<u>S</u>) 端末(<u>T</u>) ヘルプ(<u>H</u>)	
Copyright © 20052010 Asianux, Inc. All rights reserved.	_
ソフトウェア更新の設定中 Please enter your login information for Asianux TSN. If you don't have a login account and password, please get them from the following website: http://w UDE Website: http://w UDE Website: Nttp://w UDE Website: Nttp://w UDE UDE<	Н

対処方法:

製品登録したものと登録するプロダクトキーが一致しているか、再度ご確認ください。

5.4 有効期限が切れた場合

以下の画面が表示される場合は、サポート契約の利用可能期間が終了しています。 - GUIの場合



- TUIの場合



対処方法: サポート契約を更新してください。 詳細は以下の URL をご参照ください。 http://www.miraclelinux.com/service/support/ordersheet.html

5.5 ネットワークに接続できない場合、または認証サーバーに接続できない場合

以下のようなメッセージが表示される場合、まずはネットワークに接続できているか確認してください。 接続できている場合は以下のサーバーの名前解決が可能か確認してください。

認証サーバー名: update.miraclelinux.com

- GUI の場合



- TUI の場合

Σ	root@localhost:/home		×
ファイル(<u>F</u>) 編集(<u>E</u>) 表示(<u>V</u>) 検索 (<u>S</u>) 端末(<u>T</u>) ヘルプ(<u>H</u>)		
Copyright © 200 Please en a login a website: http://ww	S2010 Asianux, Inc. All rights reserved. 致命的エラー We can't contact the Asianux TSN Server. Double check the location provided - is 'http://update.miraclelinux.com/auth/src/auth entication.php' correct? If not, you can correct it and try again. Make sure that the network connection on this system is operational. This system will not be able to successfully receive software updates from Asianux without fror at SIOCG OK Lerror at S	on't have ing	
<tab>/<alt-ta< td=""><td>b>項目間を移動 <space>選択 <f12></f12></space></td><td>次の画面</td><td>Ŀ</td></alt-ta<></tab>	b>項目間を移動 <space>選択 <f12></f12></space>	次の画面	Ŀ

対処方法:

名前解決ができている、またはネットワークに接続できている場合は、弊社サポートにお問い合わせください。

5.6 アップデートサーバーに接続できない場合

以下のようなメッセージが表示される場合、まずはネットワークに接続できているか確認してください。

接続できている場合は以下のサーバーの名前解決が可能か確認してください。

アップデートサーバー名: repository.miraclelinux.com

- GUI の場合



- TUI の場合

対処方法:

名前解決ができている、またはネットワークに接続できている場合は、弊社サポートにお問い合わせください。

※ 補足事項:

自動アップデートツール(axtu/yum)は下記の2つのサーバへ接続します。

update.miraclelinux.com

repository.miraclelinux.com

Firewallの設定として、ポートは(80,443)の両方の許可をお願いします。

[更新履歴]

2012年12月13日 新規作成
 2014年11月04日 3.1 / 3.2 プロキシサーバ利用時の設定手順を追記
 5.5 / 5.6 サーバ名を追加、補足事項を追加
 上記に伴い、目次を更新
 2015年10月27日 AXS7 について追記